



安善寺境内に咲くしだれ桜

『同事の生き方』

泰忍 弘

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子

印刷・株式会社印刷



<https://anzenji-nagaoka.com>



https://www.instagram.com/sotozen_anzenji/

ご家族の皆さままでご覧下さい

今年是比较的小雪の冬だ
と、春一番の知らせを聞くや
否や一転して長岡は大雪に見
舞われました。慌てて屋根の
雪下ろしをする光景もあちら
こちらで見られ、油断大敵を
実感いたしました。しかし降
り積もった雪もまもなく消
え、明らかな四季の移り変わ
りを感じる春が訪れます。
写真の桜は安善寺の境内に
咲く「しだれ桜」です。以前
にも誌面でご紹介したことが
ありますが、この桜は私が大
本山總持寺での修行を終え長
岡に戻った平成十九年に記念
に植えたものです。背丈1
メートルほどの苗木を買い現
在の場所に植えました。購入
の際に十年ほどで二階ぐらい
の高さに成長するよ、と言わ
れましたが、その通りで見事
に成長いたしました。毎年四
月には満開の花を咲かせ楽し
ませてくれます。

さてSDGsが唱えられる昨
今「誰ひとり取り残さない社
会の実現」という目標のもと
世界中の国や、企業などが様々
な活動に取り組んでいます。
現在日本でも生活困窮世帯
の方々やその他支援が必要な
方が年々増加しております。
そんな中それらの方に支援
をする「フードバンク」や「こども
食堂」といった活動も盛ん
になってまいりました。お寺で
もそういった活動を行ってい
るところも増えてきています。
この度、長岡市仏教会青年
部でも月に一回、支援が必要
な方々に食材や日用品を渡す
場所を提供する「フードパン
トリー」の活動に協力するこ
とになりました。市内の各宗
派の寺院を数珠つなぎに会場
として行うこの事業を「仏さ
まのおすそわけ数珠つなぎ
フードパントリー」と名付け、
一月と二月は安善寺をフード

パントリー会場として行いま
した。安善寺で行った際は、
両日六十世帯のあらかじめ予
約された方々がフードバンク
連絡協議会の方がお持ちにな
った食材や日用品をお寺に
とりに来られました。フード
バンク連絡協議会の方に伺う
と新潟県内だけでも五千世帯
を超えるひとり親家族が救済
の物資を必要としていること
でした。
『修証義』に「同事どうじ」という
教えがあります。常に相手の
立場に立って、同じ気持ちで
共に喜び、共に悲しみ、寄り
添って生きていく事を表して
います。同じ気持ちの人や自
分の気持ちが分かってくれる
人がいることは、とても心強
く安心できるものであります。
安善寺では今後もこのフード
バンクの活動を支援し協力し
ていきます。見事に咲き誇る
桜を観るとみんな笑顔になり
ます。「咲」という漢字には「花
が開く」という意味以外に「わ
らう」という意味があります。
誰ひとり取り残さない社会、
みんなが笑って過ごせる社会
を望みます。

【特集】

完成から一年を迎えるにあたり

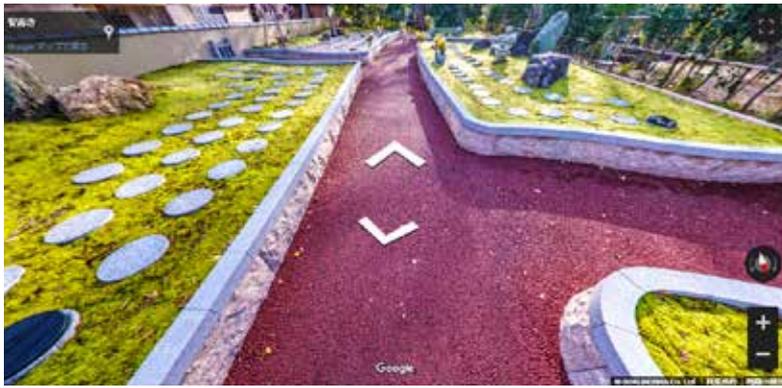
樹木葬墓地「翠緑の小径」にご縁をいただいで

この度「翠緑すいりよくの小径こみち」施工及び、管理代行を仰せつかりました(株)放光と申します。

令和二年六月御任職様より、相談したい事が有るので来て欲しいとの事。お伺いすると山門右側の駐車場及びガ

レージの傷みが激しく、改修する時期が来ている。その場所に樹木葬墓地を造成したいと思うが如何なものか？ご提案いただきました。とお話でありました。

いても五か所ほど造られており、やはり今の世相（後継者問題等）墓事情を反映し、その数も年々増え続けており、弊社においても三か所ほど手掛けています。今後も樹木葬墓地を考える方が増えていく



「蔵王山 安善寺」ホームページや Google Map のストリートビューでご覧いただけます



移動型華燭立て



如意輪観音

安善寺 樹木葬墓地ご案内ページ

<https://anzenji-jyumokusou.com/>



事をお客様の声を通して感じている等説明いたしました。その後造成する方向で話が進み設計に着手いたしました。造成にあたりお客様より、3つのご希望がございました。

- ① 境内の景観を損ねない事
- ② 庭園風墓地にしたい事
- ③ 樹木葬墓地の中央には境内地に祀ってある石佛

(如意輪観音) 四体を安置する事

この事項を踏まえて設計図を作成し、打ち合わせの回数を重ね、”和風庭園型墓地“に決定いたしました。

令和二年十二月工事開始。
(この年は雪が多く、工事に遅れが出て大変苦労しました)
令和三年四月下旬完成。無事に引き渡しを完了いたしました。

お寺様にも希望通りとのお言葉をいただきました。

令和三年五月にオープン(開園)、現在約五十区画のご契約を賜りました。

これまでご契約いただいた方のお声をご紹介します。

■長岡市在住Aさん

子供が娘だけで嫁いだ為、跡継ぎもなく悩んでいた所に、安善寺様のチラシが入ってきて見学会に行ってみました。

街中で行きやすい場所でお寺様の境内も安心感があり、しかも庭園風で、とても気に入りました。

■新潟市在住Bさん

安善寺様より葬儀をしていただいたときに、素敵な樹木葬があり、跡継ぎも居ないため、安善寺樹木葬を検討しました。

詳しく話を聞いたところ、使用年数も長くまた安善寺様よりご供養もしていただけるとの事、その他移動式のお参りをする時のロースク立で、花立も用意してあるとのこと、とても気に入りました。

今は雪に覆われておりますが、休んでいる苔や草花が春が来るのを待つており、雪解けにはすばらしい庭園が見られるのを楽しみにしております。

シリーズ
旅に
行きたい!!
第3回

4/5(火)
4/7(木)

曹洞宗瑩山禪師 古都 御誕生寺参拝と奈良寺院巡りの旅

新潟ビーエス観光 飯泉 隆史



東大寺大仏殿



黄檗宗大本山 萬福寺 本堂

新年が明け、3月になりま
した。今年は全国でのオミク
ロン株の感染から始まりまし
た。しかしその中でも冬季オ
リンピックは無事に開催さ
れ、日本選手の活躍でメダル
獲得数は過去最大のものとな
り、多くの感動と勇気を与え

てくれました。平野歩夢選手
やオリンピック効果もあり、
スキーやスノーボードの売り
上げが伸びているそうで明る
い話題ですね。
さて、冬の話も終わり春
の季節がやって来ます。暖か
くなる頃にはオミクロン株が
減少し、観光が賑やかになる
のを望むばかりです。そして
4月5日から3日間、安善寺

様の奈良の旅を予定していま
す。この機会に旅行の見どこ
ろを案内させていただきます。
1日目は安善寺様を出発
し、福井県武生の御誕生寺に
参ります。大本山總持寺御開
山瑩山禪師の生誕地に建立さ
れました。今では猫が沢山住
んでいて通称「猫寺」として
有名です。その後、奈良へ。
信貴山の玉蔵院という宿坊に
お泊りいただきます。お部屋
は広くて大浴場もあり、美味
しい精進料理をいただきます。
夕食時はお酒も飲みます。
宿坊ではゆつたりとお過ごし
いただけると思います。信貴
山は前々回の新聞にてご案内
しているのをご参考くださ
い。寅年のみの奥秘仏毘沙門
天像の御開帳は私も見たこと
がないので非常に楽しみです。
2日目、朝の御祈祷とお勤
めに参加した後、信貴山を降
り、法隆寺を訪れます。世界
最古の木造建築物と言われ、

最古の五重塔、仁王像があり、
国宝だらけの仏像の中でも注
目したいのが金堂の釈迦三尊
仏です。釈迦の像かつ聖徳太
子の像ともいわれています。
その後、薬師寺をご参拝い
たします。薬師寺の東塔は寺
内で唯一作られた頃から残っ
ているものであり、1300
年が経過しています。また金
堂の薬師三尊仏は飛鳥時代の
最高傑作のひとつと言われて
います。
次に興福寺へ参ります。宝
物館に展示している阿修羅像
が有名ですが、平成30年に完
成した当時の建物を復元した
中金堂もすばらしく、また南
円堂は西国三十三観音霊場と
しても有名です。
2日目最後は東大寺へ。言
わずと知れた日本一の大仏様
であり、また南大門では日本
最大の木造の仁王像が恐ろし
い顔で参拝者を睨み、とても
迫力があります。そして当日
のお宿は東大寺すぐ裏の若草
山の中腹にある旅館三笠にて
疲れを癒していただきます。
奈良市街が一望できる素晴ら
しい宿です。大浴場にて疲れ

を癒し、夕食をお楽しみいた
だきます。
3日目最終日は京都宇治市
にある黄檗宗の大本山萬福寺
へ。黄檗宗は臨済宗、曹洞宗
に並ぶ日本三禅宗のひとつで
す。建物、仏像は中国風で奈
良のお寺とは異なるもので新
鮮に感じられます。今年は宗
祖隠元禪師350年大遠忌の
年に当たります。その後滋賀
県一之宮多賀大社にて参拝と
昼食をお召し上がりいただき
ます。入口に強烈な太鼓橋が
あり、無事に渡れば願いが叶
うそうです。そして長岡へ帰
ります。
簡単ではありますが旅程を
ご案内させていただきますし
た。この頃は桜も見頃だと思
います。そしてコロナが落ち
着くことを願ひ、旅行の締め
切りを3月4日から24日に延
長致しましたので皆様のご参
加よろしくお願い致します。
■旅のご相談・お申し込みは
新潟ビーエス観光まで
TEL0258-34-4848

【特集】

『思い出深かったこと』

近藤 マリ子

後期高齢者という言葉あまり好みませんが、好むと好まざるとに関わりなく、その仲間入りをしています。

先日来、筆筒等の入れ替えをする事になり、押し入れの中、何卒かある筆筒の中身を出して整理することに、昨

今はやりの断捨離でしょうか。以前から、「何年か着なかつたり、使わなかつたものは、始末した方が良い」とは、聞いていましたが、それがな

かなか思い出と情がわいてきて、思うようにならないまま、今日まで詰まったものの量の多さに驚きとともに、場所を移動するだけで、なかなか片付きません。

私がいなくなったら…と思いながら、ビニール袋に入れて、日曜日に蔵王のリサイクル場に運ぶ事も数回。整理している、思い出と共に、そ

の頃の情景も浮かんでくる品物を見つけることができるのも嬉しい限りです。そんなものがでてくると、なかなか手と行動が進みませんが…そんな中、何か書かれた紙と写真をみつけました。

「その孫の二人も混じる園児らに八十翁の老師てを振るほんもののサンタとみまごふ児もありて 赤い灯 青い灯 夢はひろがる。」

児等よろこびて拍手喝采」と、書かれています。今から四十年前、長女・長男が幼稚園に通っていた頃、クリスマスが近づいたある日、幼稚園の園長先生が訪ねてこられ、クリスマス行事をするのに、義父にサンタクロースになって欲しいと依頼されました。もちろん子供達には内緒です。

義父は、「今は、もうクリ

スマスは宗教とはかけ離れて、国民的行事になっている」と、言われ快諾したのでした。

その日は、園児達へのプレゼントにと、ハイソフト（キャラメル）を一個ずつ用意し、我が家の子供達にも気付かれないように、私が幼稚園まで送り、車の中で待っていました。クリスマスが終わると義父は、園長先生の書かれたさきほどの紙を持ってきてきました。因みに、その場に居合わせた長女・長男は小学校の高学年になって聞かされて、初めて「お爺ちゃんだったの！」って驚いていました。

まだまだ残る思い出多い品々、三月の聲を聞くと、そろつと雪解けの庭が気になつてきはじめるので、それまでには片付くでしょうか。



ありし日の義父 見龍方丈様



今から40年前の幼稚園クリスマス行事でのサンタさん

東堂和尚のつぶやき

今でも夢に出てくる学生時代の自分や仲間

夜中に目が覚める、トイレに行き時計を見ると、まだ三時半。「もう一眠りできると」布団に入るがなかなか寝付かない。いつものパターンだ。浅い睡眠の時にはよく夢を見る。最近、大学時代の頃の夢が多い、人生で一番夢多き時代だったせい。夢に出てくる自分も仲間も当時の若いまま、七十歳半ばになった現在では素晴らしい思い出だ。寮生は、仏教学部の生徒で、地方寺院の弟子等。大学一年の時は、竹友寮での生活、写真のように、朝の坐禅等が終わると、応量器を使つての食事、衣食住を共にする為、深い付き合いになる。

二年からは、大学近くの「清和荘」と、いうアパートでの生活。

必然的に寮で仲の良かった友人も同じか、近くのアパートに住むことに。大学が近いこともあり、仲間の集いの場

にもなり、卒業し、本山の修行も終わると「清和荘の会」と名付け、担当者交代で年に一回・一泊の温泉旅行と親交を深めていたが、それぞれが忙しい年代になり、何年か一旦休み、還暦を過ぎた頃から再開されてきたが、令和二年に東京・愛宕の青松寺様で集まる予定が新型コロナウイルスで二年間中止に。今年是非、再開できることを願っております。

話は前後しますが昨年九月、清和荘の会の仲間で、青松寺東堂御老師が、突然訪ねてこれれ青松寺様に所蔵されている、大本山永平寺六十七世・北野元峰禅師様書「転法輪」を復刻された掛け軸を頂戴いたしました。早速、写真のように床の間に掛けさせていただきました。



北野元峰禅師様書「転法輪」



学生時代寮での食事風景

当時の若いまま

喩えた語で、また衆生を聖境に入らせるをいう」とあります。世界中に法輪が転じ、世界中の人々が、とくに各国のトップリーダーの立場の方々には、謙虚に驕らず、あらゆる人々の「いのち」の尊さを大切に、平和で自然豊かな地球になるような政策を願うばかりです。

安善寺よろず掲示板

『寺行事予定』

- 三月十五日 涅槃会
- 十八日 彼岸入り
- 二十一日 彼岸中日
- 二十四日 彼岸明け
- 四月五日〜七日 団体参拝旅行
- 五月五日 花まつり
- 六月十二日 大般若法要



* 寺行事の法要はその都度ご案内いたします。
* 仏教会主催花まつりはコロナ禍のため規模縮小で行う予定です。

4月5日(火)〜4月7日(木) 『安善寺 奈良の旅』申込締切日 延長のお知らせ
3月4日(金)から3月24日(木)に延長します。

安善寺 庭園型樹木葬

『翠緑の小径』

- お墓に樹木を植えて緑豊かなお墓にしたい
- お墓の管理が楽で安心
- お墓のデザインが豊富で個性が光ります
- お墓の価格がリーズナブル
- お墓の立地が静かで自然豊か



【お問合せ】株式会社 放光
フリーダイヤル
0120-811-112

仏さまのおすそわけ 数珠つなぎフードパントリー

～誰ひとりとり残されない世の中に！お寺を提供の場へ～

食材や日用品の提供にご協力ください！！



* 詳細はお寺にお尋ねください *

主催：長岡市仏教会青年部
協力：新潟県フードバンク連絡協議



春はもうすぐそこまで来ている。 楽しみだニヤーン



ボブのひとり言

冬の間、毎朝子供達はカーテンを開け、雪がどれだけ積もっているかを確かめる。私もエサ欲しさについて行き窓の外を眺める。さらさらの雪がこんもり積もっている日は老猫の私でさえ雪の中にダイブしたくなるのだから子供達が我慢できるはずもなく、休日になると毎週のように市営スキー場へ通っていた。

ある日、冬季オリンピックを観た真人君はスノーボードをしたいと言いだした。右へ倣えて悠真君も手を挙げる。皆さんはご存じだろうか？



春が来れば恋の季節だニヤーン

住職が若かりし頃スノーボードで軽やかに滑っていたことを!! 昔取った杵柄、子供達に教えるのに役立ったようで、一、二時間もすると上手に滑ることができたらしい。ただ、以前久美さんに教えたときはまったく滑ることができなかつたというから、子供達の身体能力のおかげかもしれないが…。滑っては転び、そして起き上がりまた雪山を上るを黙々と繰り返し二人見た久美さんは感心すると同時に、勉強もこれくらい諦めずに頑張ってくればとぼやいて

雪に喜んでいたのは子供達だけではなかつた。モモは子供達以上に大興奮していた。雪の中のボール投げを待ちきれなくて、早く早くと言わんばかりにマリ子ばあばにまわりつく。雪の中のボール投げは足腰を使うので体力を使うらしい。いつも元気なのはモモのおかげかもしれない。楽しいカーテンを開けるたびに雪が少なくなっているの。子供達は悲しいようだが、春の暖かい陽気の中で遊ぶことを想像したらきつと雪解けを待ち遠しく思うはずだ。今はこたつの中にいながらべランダで春の日差しを浴びてゴロゴロとしているのを想像する。遠くで雄猫たちの争う鳴き声が聞こえてくる。猫たち恋の季節がきたらしい。春はもうすぐそこまで来ている。楽しみだニヤーン。

編集 雑感

今年には特に春の訪れが待ち遠しく感じられます。コロナ禍での生活は、特に「五感(視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚)」の一部に制約をおよぼすのでリフレッシュしづらい方も多いのではないのでしょうか。

ある大学の学長は、人生における「人・本・旅」の必要性を説いておられます。まさに「五感」をくすぐるキーワードだと思います。年齢を重ねても、いろいろな人に会い、たくさん本を読み、面白いところへ行き、そこから多くのものを学ぶという提案です。(私は、旅・温泉・酒に惹かれますが)

巣ごもりの今は、大画面のテレビモニターで、旅の映像を楽しんでおられる方も多いと思います。観光地の名勝や自然もドローン(無人航空機)で撮影されたものは、かつては目にする事が出来なかつた風景です。今年1月に、NHK BS放送の「空旅中国 名僧たちの旅」で7世紀にインドで仏典を学ぶため都・長安を立ち、シルクロードを歩いた「玄奘」三蔵法師の足跡を放送しておりました。

ドローンで撮影した新感覚紀行とのことでしたが、砂漠や酷寒の山脈、様々な困難を超えて行く当時の苦難の旅には驚かされました。

当季刊誌では、令和3年9月号からシリーズで「旅に行きたい!!」が始まりました。これは季刊誌の編集会議で、コロナの話はもういいから、何か希望の持てる明るい話題はないかといつて、始まった企画です。今回第97号は、「安善寺様の古都奈良の旅 三日間」です。

いずれ近くや遠くに実際に旅に行ける日がやってきます。そのためにも、もうすぐ訪れる春にそなえて、心と体を健やかに保って行きたいと思っております。

(山内 芳次)

お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HP にも申込フォームがあります

第九十八号は令和四年七月十日(日)発刊予定です